

市バス、廃止路線代替バス等の見直しについて

〈協議事項〉

長野市公共交通計画に基づき、公共交通のネットワークの再構築を行うため、再編対象路線の見直しを行うもの

背景

少子高齢化や人口減少に伴い、バス利用者は平坦部においても減ってきており、さらに新型コロナウイルスの影響により事業者の経営環境は厳しい状況にあります。

人口減少は今後も進むことが見込まれており、平坦部だけでなく中山間地域にも人口が分布し続けることが予想されていることから、少ない移動需要にも対応した公共交通網を維持していくことが必要となってきました。

市では、市が関与するバス及び民間の自主路線のあり方を再考するとともに、持続可能な地域公共交通網を実現するため、令和4年度に、長野市地域公共交通計画を策定し、民間事業者と行政の役割分担、補完の考え方に基づき、公共交通ネットワークの再構築を行うため、路線の見直しを行うこととしております。

見直し対象路線及び付随して見直す路線

(1) 市バス路線等

- | | |
|---------------------|---------------|
| ①中条地区市バス（自家用有償旅客運送） | 【長野市】 |
| ②大岡篠ノ井線（自家用有償旅客運送） | 【長野市】 |
| 大岡線（自家用有償旅客運送） | 【長野市】 |
| すずらん号（中山間地域乗合タクシー） | 【アルピコタクシー(株)】 |

(2) 廃止路線代替等

- | | |
|-------------------|---------------------|
| ①川後線 | 【アルピコ交通(株)】 |
| かつら号（中山間地域乗合タクシー） | 【アルピコタクシー(株)】 |
| ②大豆島保科温泉線 | 【アルピコ交通(株)、長電バス(株)】 |

廃止路線代替バス

民間の一般乗合バスが廃止の意向を示した後、地域住民の足を確保するため、市が赤字分を補填することで運行を維持している路線

改正内容

- (1) 中条地区市バス（自家用有償旅客運送） 【資料1-2】
- ① 定時定路線の廃止
 - ② 中条地区・信州新町地区を共通エリアとしてデマンド運行として設定
- (2) 大岡篠ノ井線、大岡線（自家用有償旅客運送）、すずらん号（中山間地域乗合タクシー）【資料1-2】
- ① 大岡篠ノ井線の廃止
 - ② 大岡地区内を運行する大岡線（ハッピー号）の運行エリア拡大
 - ③ 信更地区内を運行する乗合タクシー（すずらん号）の運行路線、時刻の変更
- (3) 川後線（廃止路線代替バス）、かつら号（中山間地域乗合タクシー）【資料1-2】
- ① 川後線の運行区間の短縮及び路線名の変更
川後線から西裾花台団地線へ変更
 - ② 川後線の土曜日の運休
 - ③ 川後線の裾花台団地停留所を西裾花台団地停留所へ名称変更
 - ④ 小田切地区内を運行するデマンドタクシー（かつら号）の運行日の変更
週3日（月・水・金）の運行を週5日（月～金）の運行に変更
- (4) 大豆島保科温泉線（廃止路線代替バス）【資料1-2】
- ① 土休日の減便
長野行 12便（5便） ⇒ 7便（3便）
保科温泉行 12便（5便） ⇒ 6便（3便）
※（ ）内は保科温泉発着

改正日

・令和6年4月1日（月）